

## J-Beauty の確かな品質を世界中の 1 人ひとりの消費者に伝えること

アンズコーポレーションは、日本の化粧品消費者の非常に高い要求に応えることで、国内のリーディングカンパニーとしての地位を確立してきましたが、今後は、J-Beauty のユニークな品質をより広くグローバルに提供することを目指します。

### QUOTE:

「一言で言えば、J-Beauty・Technology は 3 つの柱で成り立っています。1 つは効果の良さ、2 つ目は安全性、そして 3 つ目はお客様にとっての使い心地です。その 3 つの柱の繊細なバランスです。」

株式会社アンズコーポレーション 代表取締役社長 山田昌良

### TEXT:

健康と美容は相伴うものであり、日本が最も得意とする二つの分野とも言えます。日本が世界一の長寿国であることは、主に日本人の健康と食生活へのこだわり起因しています。そのこだわりは、衛生や美容にも及び、日本の化粧品会社は、国内の化粧品消費者の非常に高い要求に応えるために、効果、安全性、使い心地で驚異的な能力を築いてきました。

その高く評価されている日本の化粧品業界は、国際的にも認知された「J-Beauty・Technology」を持っています。J-Beauty・Technology は、職人技、高品質、革新性、そしてお客様のニーズを重視した日本のモノづくりの哲学を中心としています。現在、アンズコーポレーションを初めとした、日本を代表する化粧品会社は、モノづくりの理念に基づいて高品質のスキンケア製品を開発しており、J-Beauty なグローバル展開を目指しています。

「一言で言えば、J-Beauty・Technology は 3 つの柱で成り立っています。1 つは効果の良さ、2 つ目は安全性、そして 3 つ目はお客様にとっての使い心地です。これは、私たちがこだわる統合的なデザインモデルであり、日本独特の「繊細な作業」という概念に包まれています：つまり、繊細な製品でありながら、高品質な製品と言うことです。これが J-Beauty・Technology の特徴です。世界の他の化粧品よりも秀でており、海外の大企業も簡単にはこの技術を真似できないことに気づいています」とアンズコーポレーションの山田昌良社長は説明します。

「日本人の化粧品リテラシーは恐らく世界でもトップレベルでしょう。日本の化粧品産業は国内顧客が中心だったため、高い品質水準が磨かれたと思われまます。」

日本の他の産業と同様に、化粧品業界も中国との競争が激化しています。しかし、山田氏が指摘するように、中国製品は安く使い心地の良い反面、効果や安全性については未知です。その一方で、日本企業は、効果的で、安全で、使い心地の良い製品を開発することに尽力し、優れた成果を上げ続けています。「今後は効果と安全性を評価する革新的な技術開発が大事になります」と語る。

「アンズコーポレーションでは、有効性と安全性のベストバランスを目指しています。例えば、デリケートな肌の方には、安全性が高く、最も効果的な処方を作りたいと考えています。また、保湿やアンチエイジングでは、非常に強力な技術を持っています。保湿やアンチエイジングの処方に適用されるオイルイン技術やオイルをバーム状にする製品については、日本でトップのシェアを持っています。」

1960 年に設立されたアンズコーポレーションは、60 年以上にわたって培ってきた化粧品技術を活かし、自社ブランドの展開と同時に ODM (Original Design Manufacturing) 企業として活躍してきました。J-Beauty・Technology をグ

グローバルに展開するために、他の日本企業と提携し、一緒に国際市場に挑戦しています。そして、現地でのパートナーシップを確立した上で、各市場のニーズに合わせた技術や製品を提供していくことになる。

「これは、プラットフォームというか、ビジネスパートナーシップのようなもので、私たちのグローバルビジネスの中核にしたいと考えています。例えば、アンズスコーポレーションは、スキンケアに非常に高い技術を持っていますが、ヘアケアやメイクアップに精通している他の日本の ODM メーカーと一緒に ODM 展開を行うことにより、クライアントに最高の品質を美容領域全般で提供できます。また各 ODM メーカーの生産設備を共有できれば高いコストパフォーマンスを実現できると思われます。そしてグローバルに非メーカーとしてのあらゆる資産を持つ三井物産ケミカル社を始めとした三井物産グループと協業することによりクライアントに多様な付加価値を提供できると考えます。」と山田氏は説明します。

「J-Beauty・Technology のプラットフォームとして使用していただくことによって、日本の ODM メーカーのグローバルなプレゼンスをより高めていきたいと考えています。つまり、高い技術力を持つ国内の ODM メーカーが一丸となり、それぞれの強みを活かして海外市場に貢献できるビジネスモデルを構築していくことです。お客様にとっては、この ODM/PF を訪れることで、J-Beauty・Technology をワンストップで享受できる環境となるでしょう。そして化粧品の効果と安全性を評価する革新的な技術が J-Beauty・Technology への安心感と納得感を提供するでしょう。世界市場に進出した後、この J-Beauty・Technology をどのようにローカライズするかが第二のステップとなるでしょう。そしてそれはパーソナライゼーションと極めて近いことを意味します。」